

INFORMATION

「セキュリティ対策評価制度星3つ取得」 支援します！

2026年度から本格運用が予定されている「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」は、企業間取引におけるサイバーセキュリティ対策の標準化と可視化を目的とした新制度です。

特に中小企業にとっては、制度への対応が取引継続や信頼性確保の鍵となるため、早めに準備することが求められています。アップデートでは、中小企業が制度開始と同時に評価を公表できるよう「セキュリティ対策評価制度申請支援サービス」にて星マーク取得をご支援いたします。

セキュリティ方針策定、社内ルール整備、評価提出までを一貫してサポートすることで、企業価値向上と競争力強化に貢献いたします。



サプライチェーン強化に向けた セキュリティ対策評価制度とは

企業が一定水準のセキュリティ対策を講じていることを星マーク(★)取得という形で証明できる仕組み。

現時点では★3・★4・★5の3段階評価が想定され、2026年10月に★3・★4から運用開始予定

UD TOPICS

10月



10日(金)、2026年度入社 新卒採用内定式を開催しました。4名の内定者が参加し、内定証書の授与では、内定者の皆さんが、和氣代表からの祝辞と励ましの言葉を、真剣なまなざしで聞き入っていました。
内定式後の懇親会では、内定者と社員で和氣あいあいとした雰囲気でお睦を深める場面もあり、アップデートにとって新たな仲間を迎え入れるための大切な1日となりました。

11月



21日(金)、オフィスビルにおいて火災発生を想定した避難訓練を実施しました。今回はアップデートの社員8名が参加し、避難階段で8階から1階まで避難し、消防署員に教えてもらいながら、消火器取り扱い訓練を受けました。
今後も定期的な避難訓練を継続し、実践的な防災対策の強化に取り組んでまいります。

12月



19日(金)、日頃UDとお付き合いいただいている皆さまをお招きして忘年会を開催いたしました。ご参加いただいた皆さまに感謝をお伝えするとともに、親睦をより一層深めることができました。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。2026年もまた、弊社一同力を合わせ、目標達成を目指し日々尽力してまいります。



栃木県庁15階から臨むアップデートオフィスビル

MESSAGE

【代表インタビュー】 2025年の振り返りと2026年の展望

INTERVIEW

【スマート社員活用事例】 クライアントインタビュー

MEMBER

スマート社員メンバー紹介 第9回「タンポポ」

新コーナー！

UDコラム / アップデートひろば



新春によせて — 17期の歩みと18期の展望 —



2025年を振り返って

17期 テーマ

「変化を進化に、新たなビジネスモデルを目指して」を振り返って

17期は、“変化を進化へ”と転じるための大きな挑戦と基盤づくりの一年でした。オフィス移転、インターンシップの強化、地域との協働、そして先端技術を活かしたパートナー戦略など、多方面で当社の未来につながる取り組みが進展しました。ここでは、その主なトピックスを振り返ります。

宇都宮中心地へのオフィス移転 ブランド価値と採用力の向上

今期は宇都宮中心地に拠点を移し、“成長企業”としてのブランドイメージをさらに強化しました。街の中心に構えることで地域内でのプレゼンスが高まり、来社いただく企業やパートナーからも「成長力を感じる」という声を多くいただきました。新オフィスは、インターンシップでの魅力発信力を高め、企業文化・設備を体感いただける場として機能しました。また、地域企業との対話の機会も増え、商談や共創の場が自然と生まれる“つながりの拠点”となりました。引き続き、この場所から地域企業と共に成長を進めてまいります。

地域支援機関との協働深化 新たな案件・つながりの創出

栃木県航空宇宙懇話会（TASC）や栃木県産業振興センター（とちぎビジネスAIセンター）と連携し、イベント参加・セミナー企画・交流会での意見交換を通じ、地域企業との接点を広げました。「地域のDXを共につくるパートナー」としての位置づけがより明確になった一年でした。

インターンシップ制度の強化 次世代人材との接点づくり

地域の学生を対象にしたインターンシップ（オープンカンパニー）の受け入れを拡大しました。新オフィスの環境を活かし、スマート社員の仕事を疑似体験できる実践型プログラムを提供。これにより、学生との接点が飛躍的に拡大し、将来の採用母集団づくりに直結しています。「地域の若者が成長し、地域企業を支えていく」この流れを当社から作っていくための第一歩となりました。

パートナー企業との連携強化 先端技術とセキュリティ支援の進化

トリプルアイズ社とはAI分野での協働をさらに加速し、商工会議所職員向けAIセミナーの開催、新しいAIZEソリューションの導入など、地域企業の先端技術活用を後押ししました。また、BitoB社とのパートナーシップでは、サイバー攻撃被害を受けた企業への対策支援や、サプライチェーン向けのセキュリティセミナーをアクロニス社協力のもとに実施。スマート社員の特徴である「実践力」を存分に発揮し、企業の安全性と成長を支える体制を整えました。

2026年について

18期 テーマ

繋がりを力に、進化で挑む、次の成長ステージへ

組織の総合力を磨き上げ、新たな価値を創り出す出発点

18期は、当社がこれまでに築いてきた“繋がり”をさらに強固な力へと変え、次の成長ステージに進む一年となります。人と技術がつながり、学びと実践がつながり、地域企業との信頼がつながる——その連鎖がより大きな価値を生み出す。そんな出発点が、18期です。このテーマを軸に、以下の4つの重点取り組みを進めてまいります。

一 スキルと品質の強化によるサービス価値の進化

繋がり の源泉である“提供価値”を磨き続けるため、社員一人ひとりのスキルアップと、チーム全体の品質強化を進めます。CLOUDIT（当社の基幹システム）を通した知識連携やAI活用により、スピード・精度・ホスピタリティを兼ね備えた支援体制をさらに進化させ、顧客企業との信頼を深めます。

二 組織基盤の強化と次世代リーダーの育成

進化を続ける組織にとって、リーダーの力は不可欠です。18期は、組織横断での連携を強化しながら、リーダーを3名から6名へ拡大。“つながりをまとめ、仲間を導く力”を持つ次世代リーダーを育て、総合力の高い組織づくりを推進します。

三 成長と成果が循環する仕組みの構築

繋がりによって生まれた力が、成果につながり、その成果がまた次の成長を生む。ホスピタリティやチーム貢献も評価する総合的な仕組みへと進化させ、働きがいと成長が響き合う文化を育てます。

四 パートナー連携の強化と価値提供の拡大

CLOUDIT（当社の基幹システム）×スマート社員の協働提案を軸に、パートナー企業との連携を深化。チームで提案するコーポレート業務パッケージや、地域密着型のサイバーセキュリティ支援デスクなど、つながりによって生まれる新しい価値をプロジェクト単位で届けていきます。

私たちアップデート株式会社は、皆様のお役に立てることを使命とし事業を行っています。

皆さまとの出会いを大切にしつつ、ともに発展していきたいと思っております。2026年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

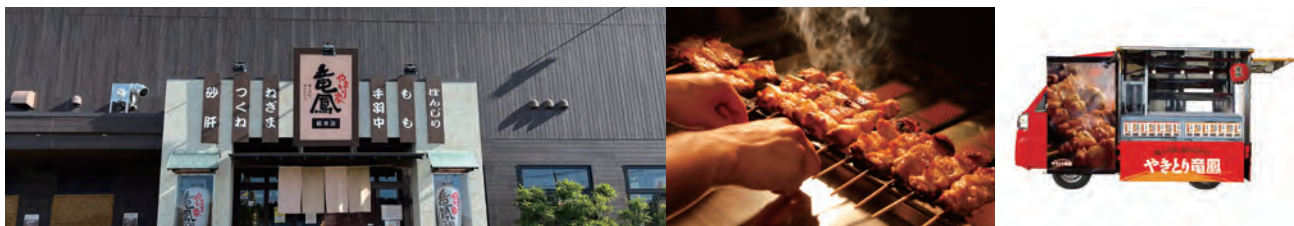


INTERVIEW

クライアントインタビュー

UDのスマート社員の活用方法や、『スマート社員』について思っていることについてお聞きしました。

※『スマート社員』とは、アップデートの社員がコーポレートITサービスエンジニアとしてお客様企業の内部で社員として業務を行い、課題の発見から解決策の提案、実施までをITを活用してサポートするサービスです。



INTERVIEW

Interviewee

株式会社
全国チェーン
竜鳳



取締役
鈴木 慎 様



取締役
鈴木 悟 様

株式会社全国チェーン竜鳳様

やきとりの移動販売事業を全国規模で展開しています。加えて、居酒屋店舗の運営や、これらの事業に関するフランチャイズシステムの構築・運営、加盟希望者への独立開業支援も行っています。また、事業運営に必要なやきとりの串打ちや秘伝のタレの製造、オンラインストアでの通信販売、移動販売車の管理など、やきとり専門の多様な事業を一貫して手掛けています。

UDに相談する前に抱えていた課題や困っていたことを教えてください。

情シス部門の担当者が退職してしまったことが、弊社にとって大きな転機となりました。これまで特定の人に依存していた業務の全体像が不明確になり、業務の洗い出しと可視化が急務となったのです。また、単なる穴埋めではなく、組織全体として誰でも対応できるような形で業務を仕組み化したいという強い思いがありました。この属人化していた業務を全社的なプロセスとして確立することが、当時の最大の課題でした。

今回UDを知ったきっかけ、スマート社員サービスの印象を教えてください。

和氣社長と鈴木慎が同級生であったことがきっかけです。「そういえば、情シス周りの支援を専門にやっている」という話を聞き、ちょうど課題を抱えていたタイミングで相談させていただきました。スマート社員サービスについては、単なる業務代行ではなく、弊社の内情を深く理解し、ITの専門家としてより本質的な改善提案をしてくださる印象を受けました。

UDのスマート社員の契約の決め手はなんですか？

スマート社員の方々の実際の「働きぶり」と、社長の弊社に対する「熱意」でした。特に、情シスとしての業務を依頼したにもかかわらず、それだけに留まらず、多岐にわたる分野で積極的な提案をいただけたことが非常に良かったです。

UDが提案して良かった点はありますか？

多々ありますが、特に感動的だったのは、今までExcelの数字だけで出していた収支報告を、BIツールを用いて視覚的に分かりやすい形で作成・実現してくれたことです。これにより、数字の持つ意味が明確になり、経営判断のスピードと質が格段に向上しました。また、社内に常駐していただくことで、表面化していなかった問題点をプロの視点で見つけ出し、それを改善へと導いてくれた点も高く評価しています。社外の人間だからこそ気づける客観的な視点の価値を強く感じました。

UDの担当スマート社員はどうですか？

皆さん非常に優秀です。特に感心するのは、一つの問題や同じ事柄に対しても、担当者それぞれが独自の深い考えやアプローチを持っている点です。単にマニュアル通りに動くのではなく、状況に応じて最適な解決策を追求するプロフェッショナル意識の高さが素晴らしいと感じています。

スマート社員に今後期待する点はありますか？

UD様のリソースに限りがあることは理解していますが、引き続き、業務のボトルネックを解消し、弊社の業務スピードがさらに向上するようなサポートを期待しています。より迅速なレスポンスと、先を見越した積極的な提案を今後も楽しみにしています。

UDのスマート社員を他の会社へおすすめできますか？

正直なところ、うちの会社でより多くのリソースを使って、早く業務を進めてほしいので、他の会社にはおすすめしません(笑)!! それくらい優秀なので、ずっとうちにいてほしいというのが本音です!!

インタビューにご協力いただき、誠にありがとうございました！

スマート社員メンバー紹介

第9回

UDネーム

タンポポ

TYPE	ITディレクター
要求熟練度	Lv2
趣味	推し活・旅行
座右の銘	思い立ったが吉日
好きなゲーム	ポケモン
UDネームの由来	誕生花だったこと、気づいたらそこにいるような存在になりたいという思いから

smart member

Q. 現在の仕事内容について

A. 現在は、主に2社担当しており、1社はお客様の業務を洗い出し、業務フローとして整理する「全体最適」の支援をしています。「見える化してみたいけど、なかなか手が回らない…」という部分をお手伝いできている実感があります。具体的には、定期的に訪問させていただき、社内で業務の様子や雰囲気などをつかみながら、各部署の方々にヒアリングを行います。ほかのお客様では、採用支援の採用広報として、SNS運用やWEBサイトの更新などを行っています。

Q. 仕事で心掛けていること

A. 外部の人間が急に社内に入れば、誰でも身構えてしまうものだと思います。だからこそ、焦らず相手のペースに合わせ、少しずつ信頼関係を築くことを大切にしています。ヒアリングの際には、「業務改善のため」「システム刷新のため」など目的をきちんと伝え、安心して話してもらえるよう心がけています。改善点については、外部の視点だけで判断するのではなく、長く現場で業務に携わっている方の考えや気づきを大切にしたいと考えています。実際に運用するのは現場の方々だからこそ、その声を丁寧に聞き取り、内容を整理したうえで経営陣にも伝わる形にすることが自分の役割だと思っています。現場と経営をつなぐ存在として、「相談してよかった」と感じてもらえるよう、日々向き合っています。

Q. 今後やっていきたいこと

A. 業務の見える化を進める中で、BIツールを使って数字を見る形にしたところ、お客様にとっても喜んでいただいた経験があり、データの力を強く実感しました。そこから、より専門性を高めたいと考えるようになり、現在は宇都宮大学の「宇大未来塾」に参加し、データ分析について学んでいます。どの会社にも必ずデータはあります。そのデータを正しく扱い、業務改善やよりよい経営判断につなげられるよう、現場に寄り添いながら、これからも知識と経験を積み重ねていきたいです。



◀こちらのQRコードから、すぐにご相談いただけます！
ご連絡お待ちしております！！

家にいる日と外に出る日が半々くらいです。家ではゲームをしたり、猫と遊んで癒されたり、ゆったり過ごしています。外ではアウトレットや温泉に行ってリフレッシュしたり、友達に声をかけて遊びに行ったりして、仕事モードからオフモードにするのが好きです。



▲ 仲の良い同期3人でディズニー！



▲ 飼い猫のまる

お客様にひとこと

「やりたいけれど手が回らない」「以前やっていたけれど続けられなくなった」そんな業務はどの会社にもあると思います。私たちスマート社員は、そうした“かゆいところ”に手が届くサービスです。ちょっとした一言でも構いませんので、ぜひ気軽に声をかけていただけると嬉しいです。

DX認定取得のススメ

当コラムでは、生産性向上に直結する具体的な手法から、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するためのステップまで、実用的な知見を幅広く紹介。現場担当者からマネジメント層まで、それぞれの立場で直面する課題の解決に役立つノウハウを提供します。

DXって何？（経済産業省による「DX」の定義）

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

DX認定をとると何がいの？

社内外にアピールできる

- 認定事業者一覧に公表され、ロゴマークが使える！
- DXに積極的に取り組んでいる企業として内外にアピールできる！



▶ 各種制度利用の優遇

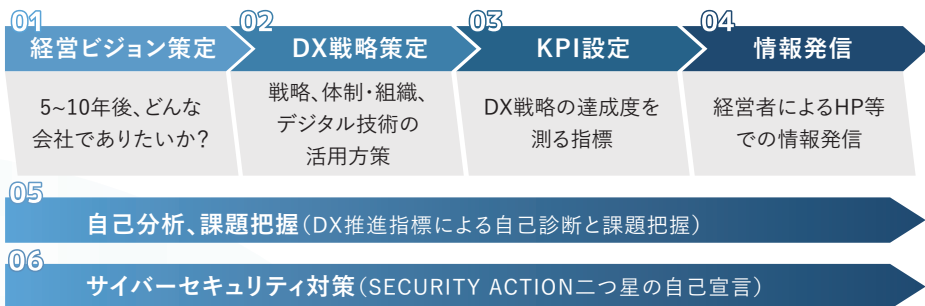
金利優遇等の金融支援措置や人材育成に関する助成を受けることができる！

- 日本政策金融公庫による金利利用優遇
- 人材開発支援助成金
- 中小企業信用保険法の特例
- ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の加算対象

※ 各種施策の概要は経済産業省のサイトにてご確認ください。

DX認定はどうやって取るの？

STEP 1 DX戦略・企画を、以下の手順で行います



STEP 2 DX戦略の内容をホームページで社外公開します

STEP 3 GビズIDから申請を行います

アップデートは、御社のDX推進、DX認定取得を支援します。
何から始めればよいかわからない、社内リソースだけではやりきれない、
など、何でもお気軽に相談してください！

アップデート株式会社 顧問
野田 正弘
ITコーディネータ・DX認定サポーター

アップデートひろば

UPDATE COMMUNITY

「アップデートひろば」は、アップデート株式会社の「ヒト」に焦点をあて、社員の様々な情報を発信するコーナーです！
アップデートの社風や、社内にどんなメンバーがいるのか多くの方に知ってもらえれば嬉しいです！

バオバブの地域イベントレポート

シウマイの街 鹿沼を味わい尽くす！「かぬまシウマイ博覧会」レポート

11月22日（土）、鹿沼市役所の駐車場で開催された「かぬまシウマイ博覧会」に、ふらりと行ってきました。
崎陽軒の初代社長・野並茂吉さんのふるさとである鹿沼を「シウマイの街」にしようという想いから生まれたこのイベント。当日の会場の様子と、そこから感じたことを、簡単にレポートします。

report 1

シウマイの香りに包まれた市役所前

会場は鹿沼市役所の駐車場。開始時刻の1時間後に到着しましたが、会場にはおいしそうな湯気と香りが立ちこめ、あちこちに行列ができていました。市内の飲食店やお店が趣向を凝らしたシウマイを一皿300円で提供しており、「せっかくだからもう一皿…」と、つい財布のひもがゆるんでしまいます。気づけば「できるだけ多く味わってみよう」と心に決めて、いくつもの行列に並んでいましたが、さすがにすべてを制覇するには至らず、途中で満腹になってしまいました。



report 3

“まちおこし”としてのシウマイ

会場には、シウマイ販売ブースのほかに、「かぬまシウマイバス」や「かぬまシウマイタクシー」の展示もあり、街全体で“シウマイのまち”を打ち出していこうとする雰囲気が伝わってきました。
トークイベントやステージ企画も行われており、単なる「グルメイベント」を超えて、鹿沼らしさをつくる取り組みになっていると感じました。

report 2

同じ“シウマイ”なのに、ここまで違う

実際に食べ比べてみて一番おどろいたのは、「同じシウマイでも、こんなに個性が出るんだ」ということです。

肉の旨味が
ぎゅっと詰まった

ごはんが欲しくなるシウマイ



ヘルシーなシウマイ

野菜多めで
さっぱりと食べられる

皮がもちもちで
食べごたえがある

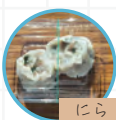
主食になるようなシウマイ



そばの実



いちご



にら

個人的に印象に残ったのは

- ・ 身近な「シウマイ」を合図に、世代や立場のちがう人たちが一緒に集まり、同じ時間を楽しんでいたこと
- ・ 各店が“自分なりのシウマイ”を考え、同じテーマの中でそれぞれの個性や強みをうまく表現していたこと

これは、私たちが地域の企業さまと一緒に「新しい価値」や「その会社らしさ」をつくっていくときにも、通じる視点だと感じました。

バオバブ

今回は完全にプライベートでの参加でしたが、「食」をきっかけに人が集まり、街の新しいイメージが形づくられていく様子を、肌で感じることができました。
今後もこうした地域のチャレンジに、いち市民として楽しみながら触れつつ、UDとしてはデジタルや人材の面から地域をアップデートしていく一助になればと思います。シウマイ好きの方はもちろん、「まちおこしの現場を見てみたい」という方にもおすすめしたいイベントでした。来年開催の際は、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。